

2024年度生産性向上支援訓練コース内容

主催：滋賀職業能力開発促進センター

コース番号	051	訓練分野	D.データ活用－表計算ソフト活用
コース名	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（Excel上級）		
正式な コース番号・ コース名	24-25-12-107-051 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2024/12/17（火）・18（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30）		
会 場	キャリアプラザビット滋賀本校（栗東市）		
対 象 者	Excelの機能を使って繰り返し作業を効率化したい方 ●IF関数の条件分岐がわかる方 ●マクロを使ったことがない方、使い始めて日が浅い方 ●マクロを使って、定型業務を効率化したい方		
習得する スキル等	●定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法		
ポイント	Excelは業務で使っているが、マクロを使ったことがない方、苦手な方にお勧めのコースです。VBAの入門的な内容も学習します。		
内 容	<p>1 マクロの基本知識</p> <p>（1）マクロ記録：マクロの記録機能を用いてマクロ記録の一連の流れを体験</p> <p>（2）VBAとは</p> <p>（3）プログラム開発環境（VBE）とは</p> <p>（4）プログラミング作業の流れ</p> <p>2 基本文法</p> <p>（1）モジュールとプロシージャ：マクロを構成する基本的な要素について</p> <p>（2）プロパティ・メソッド・オブジェクト：ステートメントを構成する要素について</p> <p>（3）基本文法に沿ったマクロの作成</p> <p>3 制御文法</p> <p>（1）変数：変数名、データ型、値の代入について</p> <p>（2）条件分岐処理：If-Then-Else構文等、条件分岐処理について</p> <p>（3）繰り返し処理：For-Next構文等、繰り返し処理について</p> <p>（4）プログラミング作業の流れ：VBAを用いた請求書作成プログラムを作成する</p> <p>（5）デバッグ（動作確認）</p> <p>【総合演習課題】請求書作成プログラムの作成</p>		

実施機関	株式会社ビット		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	Excel2016(2019の場合あり)	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具		
備考	無料駐車場は受講票に記載の受付日時に予約が必要です(台数制限あり)	講習内容に合わせたオリジナルテキストを使い、すぐに職場で活用できる、丁寧でわかりやすい授業の提供に努めております。	